



中国四国地域の和食文化ネットワーク

メールマガジン 第 58 号

配信日：2023 年 12 月 21 日



今年の冬至は 12 月 22 日です。ゆず湯に入って、無病息災を祈りませんか。また『ん』がつく食べ物を食べると『運』がつくという言い伝えがあります。「なんきん（かぼちゃ）」を食べるのが一般的ですが、「にんじん」「ぎんなん」「きんかん」「れんこん」「うどん」「かんてん」等を合わせて『冬至の七草』と呼ばれています。

うちの郷土料理『かぼちゃのいとこ煮物』↓（農林水産省ホームページ）

https://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/culture/wagohan/articles/2212/spe12_01.html

【目次】

1. 高知市立自由民権記念館企画展「田村利親（たむら としちか）と土佐の柑橘
～未完の大著『日本柑橘全誌』の世界～」のご案内
2. 農林水産省「行くぜっ！ にっぽんの和食」キャンペーンのご案内
3. 農林水産省 広報 Web マガジン aff（あふ）11 月号「未来へつなぐ和食インタビュー」
4. 和食会議 ユネスコ無形文化遺産登録 10 周年記念イベント
「1204 和食セッション」～次世代に繋ぐ和食の集い～の実施報告
5. 全国豆腐連合会「第 7 回全国豆腐品評会」の表彰式開催
6. 全国納豆協同組合連合会「第 27 回全国納豆鑑評会」農林水産大臣賞の決定
7. 中央味噌研究所「第 64 回全国味噌鑑評会」農林水産大臣賞の決定

-
1. 高知市立自由民権記念館企画展「田村利親（たむら としちか）と土佐の柑橘
～未完の大著『日本柑橘全誌』の世界～」のご案内
-

中国四国地域の和食文化ネットワーク会員様から、企画展示と公開シンポジウムのご案内です。

田村利親〔1856 年～1934 年〕は、現在の高知県香美市に生まれました。果樹、特に柑橘類の分布、栽培状況、利用法等を調査・研究しました。植物学者、田村利親の業績を、残された柑橘の彩色画をはじめとする資料からご紹介しています。

【企画展示】

田村利親と土佐の柑橘～未完の大著『日本柑橘全誌』の世界～

開催期間：令和 5 年 12 月 16 日（土曜日）～令和 6 年 5 月 26 日（日曜日）

9 時 30 分～17 時 00 分

休館日：月曜日、祝日の翌日（月曜祝日の場合、その翌日）、12 月 27 日～1 月 4 日

開催場所：高知市立自由民権記念館 2 階特別展示室（高知市棧橋通 4 丁目 14-3）

主催：高知市立自由民権記念館、伊予鉄総合企画株式会社、特定非営利活動法人地域文化計画

観覧料：個人 320 円・団体（20 人以上）250 円/1 人

※高校生以下、65 歳以上、療育手帳、身体障害者手帳及び精神障害者保健福祉手帳所持者
とその介護者 1 人は無料

【関連企画：田村利親と土佐の柑橘（仮）】※詳細検討中

開催日：令和 6 年 1 月 28 日（日曜日） 午後

シンポジウム

開催場所：高知市立自由民権記念館 1 階民権ホール（高知市棧橋通 4 丁目 14-3）

開催方法：会場とオンラインの併用開催予定（要事前申込）

白木果樹園による文旦各種の展示とレクチャー

開催場所：高知市立自由民権記念館 1 階民権ホール横

詳しくは、こちらをご覧ください。↓（特定非営利活動法人 地域文化計画ホームページ）

<https://opalh.jp/2023/09/21/%e4%bc%81%e7%94%bb%e5%b1%95%e7%a4%ba%e3%80%80%e5%9c%9f%e4%bd%90%e3%81%ae%e6%9f%91%e6%a9%98%e3%81%a8%e7%94%b0%e6%9d%91%e5%88%a9%e8%a6%aa/>

※今回の企画展示は、「和食」のユネスコ無形文化遺産登録 10 周年を記念するイベントとして農林水産省ホームページに掲載されています。↓（農林水産省ホームページ）

https://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/wasyoku_unesco10/event.html?fbclid=IwAR1g7GIthFa3saD4F_98k9tS57EYXG9C1DKwq56I3_7BvSZZehBfdA7Plr0

2. 農林水産省「行くぜっ！にっぽんの和食」キャンペーンのご案内

農林水産省は、本年 12 月 4 日（月曜日）に和食がユネスコ無形文化遺産に登録されて 10 周年を迎えることから、新たな発想で「和食文化の魅力」を発信していく「行くぜっ！にっぽんの和食」キャンペーンを実施しています。

【実施期間】令和 5 年 12 月 4 日（月曜日）～令和 6 年 12 月 3 日（火曜日）

【キャンペーンの内容】

①賛同者の募集及び和食の保護・継承活動の促進

賛同者は、以下のいずれかの活動の実施を宣言することでキャンペーンに参加し、和食文化の保護・継承活動の促進に取り組んでいただきます。

ア 和食文化の魅力を様々な視点（「すごい！」、「かついい！」、「おもしろい！」、「のこしたい！」等）から国内外に発信する活動

- イ 地域での伝統的な食文化の保護・継承活動やこれを支援する活動
- ウ 和食文化継承リーダー等地域や学校で子どもたちや若者・子育て世帯に和食文化を伝える者に対して、活動の場を提供する活動
- エ その他和食を食べる機会の増加につながる活動

②ロゴマークの作成

キャンペーンの認知度を高め、賛同者の連帯感を高めるため、ロゴマークを作成しました。賛同申請承認後に、賛同者へロゴマークを直接配布し、賛同者のロゴマークを使用した活動を促進します。



詳しくは、こちらをご覧ください。↓（農林水産省ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/wasyoku/231204.html>

3. 農林水産省 広報 Web マガジン aff（あふ）11月号「未来へつなぐ和食インタビュー」

農林水産省広報 Web マガジン「aff」では、第一線で活躍する和食の達人から将来を担う子どもたちへ想いをつなぐ連載企画「未来へつなぐ和食」を奇数月に配信しています。

11月は和食の人気料理人、「分とく山」総料理長 野崎洋光さんが素材そのものの味を生かす調理法を教えてください。聞き手は和食が好きでご自身でも料理をするというタレントの知久杏朱（ちく あんじゅ）さんです。

詳しくは、こちらをご覧ください。↓（農林水産省ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/2311/washoku03.html>

4. 和食会議 ユネスコ無形文化遺産登録 10 周年記念イベント

「1204 和食セッション」～次世代に繋ぐ和食の集い～の実施報告

12月4日（月曜日）、（一社）和食文化国民会議は、ユネスコ無形文化遺産登録 10 周年記念イベントとして、「1204 和食セッション～次世代に繋ぐ和食の集い～」を開催しました。

第一部

【講演】和食が心身の健康に及ぼす影響（東北大学大学院医学系研究科名誉教授 辻一郎氏）

健康に良い『食』と和食の関係性（医学研究所北野病院理事長 稲垣暢也氏）

【パネルディスカッション】和食の健康価値と可能性

第二部

【体験イベント】「和食」を支える基礎調味料と飲み物

「砂糖」「塩」「酢」「醤油」「日本酒」「日本茶」計 6 ブース
～見て・触って・違いを感じる、味わう、楽しい体験！～

詳しくは、こちらをご覧ください。↓（和食会議ホームページ）

<https://washokujapan.jp/info/info-20231211/>

5. 全国豆腐連合会「第 7 回全国豆腐品評会」の表彰式開催

10 月 29 日（日曜日）、（一社）全国豆腐連合会は、第 11 回ニッポン豆腐屋サミットと同時開催で、第 7 回全国豆腐品評会の表彰式を愛知県名古屋市で開催しました。

最優秀賞（農林水産大臣賞）1 点、木綿豆腐・絹ごし豆腐・充填豆腐各部の金賞各 1 点等の受賞者に授与されました。

○最優秀賞（農林水産大臣賞）

寄せ豆腐 むさし屋豆腐店（所在地：東京都）

○木綿豆腐の部 金賞

幻の極 木綿豆腐 とうふ工房味華（所在地：群馬県）

○絹ごし豆腐の部 金賞

日本の絹ごし 華 くすもと食品（所在地：鹿児島県）

○充填豆腐の部 金賞

こいまる。PREMIUM 村のおっさん（所在地：徳島県）

詳しくは、こちらをご覧ください。↓

<https://tofuaward.jp/>

6. 全国納豆協同組合連合会「第 27 回全国納豆鑑評会」農林水産大臣賞の決定

全国納豆協同組合連合会は、11 月 9 日（木曜日）、第 27 回全国納豆鑑評会を長野県長野市で開催しました。全国 69 メーカー、総出品数 180 点の中から、最優秀賞（農林水産大臣賞）1 点、優秀賞 6 点、優良賞 4 点、長野大会特別賞 6 点、特別賞 4 点の受賞者を決定しました。

納豆鑑評会は、納豆の製造技術改善と品質の向上を目指して行われる審査会です。

○最優秀賞（農林水産大臣賞）

大粒白糸納豆 有限会社鈴木食品工業（所在地：新潟県）

詳しくは、こちらをご覧ください。↓（全国納豆協同組合連合会ホームページ）

<https://www.natto.or.jp/kanpyou/>

7. 中央味噌研究所「第64回全国味噌鑑評会」農林水産大臣賞の決定

(一社)中央味噌研究所は、11月16日(木曜日)、第64回全国味噌鑑評会を開催しました。
農林水産大臣賞 6点、農林水産省大臣官房長賞 15点、全国味噌工業協同組合連合会会長賞 20点、(一社)中央味噌研究所理事長賞 20点、審査長賞 14点の受賞者を決定しました。
味噌鑑評会は、味噌の品質と技術の向上を目指して行われる審査会です。

中国四国地域の受賞者

○農林水産省大臣官房長賞

くらしき塩屋の甘口 株式会社くらしき塩屋 (所在地：岡山県)
米・麦合せ味噌 高見味噌店 高見裕士 (所在地：岡山県)

○全国味噌工業協同組合連合会会長賞

黄金扇白みそ 株式会社ますやみそ (所在地：広島県)
麦味噌 笹埜商店 笹埜典正 (所在地：岡山県)

○一般社団法人中央味噌研究所理事長賞

新庄みそ 白みそ 新庄みそ株式会社 (所在地：広島県)
まるみそ 糀みそ 有限会社まるみ麴本店 (所在地：岡山県)

詳しくは、こちらをご覧ください。↓

<https://www.miso.jp/> (中央味噌研究所ホームページ)

https://miso.or.jp/museum/competitive/winner_2023/ (みそ健康づくり委員会ホームページ)



中国四国地域の和食文化ネットワークの事務局



窓 口：中国四国農政局 経営・事業支援部 食品企業課

住 所：岡山県岡山市北区下石井 1-4-1

電 話：(086)224-4511【内線 2152／2154】

農林水産省では、このほかにもメールマガジンを発行しております。

配信をご希望される方は、ご登録をお願いします。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>